

## 4. 統計調査部

「年次統計調査報告」を1年がかりで作る、何とも硬いイメージですが、統計をとるにはまず対象となるデータが必要で、会員の皆さんのお力とご協力なくしては成り立ちません。まずもってご協力のほど、よろしくお願いいたします。

年度明けの初仕事は重複雑誌の目録作りからです。重複雑誌リストの提出依頼が済むと、次はお願いした期日までにどれぐらい集まるのかが心配の種で、毎日の郵便が待たれます。期限が過ぎると狭い机に一杯になったリストのカルタとりがはじまり、さながらトランプの神経衰弱のようです。外国誌のタイトルをINDEX MEDICUSの略誌名に統一し、やっと原稿の整理ができると、ワープロソフト「一太郎」の手を借りて入力、プリントアウトします。幸い図書室にレーザープリンターを設置しておりますので印刷所の手を煩わせることなく皆さんのお手元にお届けすることができました。

続いて年次統計調査の回答が次々と送られて来ます。一つずつ整理しながら判らないところを電話で問い合わせたり、期日までに出していただけないところにハガキを出したりしていると、どんどん時が過ぎ、次の年のカレンダーが配られる季節が来てしまいます。毎日毎日、パソコンに向か

ってコツコツと入力し、項目ごとの一覧表を作成、順次集計を出していきます。この間には先輩幹事さんからいろいろ教えていただいたり、前年度のデータを入力したディスクをいただいたりといろいろとご迷惑をおかけしました。こうして無事「年次統計調査」も完成させることができました。名古屋の土地柄でしょうか、印刷代も大阪よりかなり高く印刷に出すのももったいないと複写機を利用しての作業です。でき上がればやはり嬉しく、万全を期したつもりでも間違いを指摘されたらどうしようと、チョッピリ不安を残しながらも発送となりました。これからも皆さんが活用できる統計調査報告をお届けできるように努力したいと思っています。

最後になりましたが、統計調査の仕事を担当させていただくことにより本当に地道な裏方の仕事であることを痛感すると共に、こういった仕事の重要性を認識させられていることを付け加えさせていただきます。

担当は名古屋第一赤十字病院図書室の二人です。明るくて、いつも笑顔の絶えない、そして新しいものに挑戦して成果を上げている大平美里さん、配置替えて図書室勤務となり、悪戦苦闘しながら図書室の仕事をしている私、笠原です。

ここでちょっと名古屋の紹介を!!

名古屋といえば金の鯨「名古屋城」、「熱田(神宮)さん」、コアラのいる「東山動物園」、美味しいものと思ったら「きしめん」に「みそかつ」、お菓子は伊勢湾でとれた海老で作る「えびせんべい」。最近話題のきんさん、ぎんさんも住んでいます。東京、大阪には生まれ名古屋とぼし(新幹線のぞみ号)もあるけれど、住めば都で結構いいところです。皆さんぜひ一度お越しください。

(笠原 記)



写真左から大平、笠原